

郷土の歴史は、我等の誇り、住みよい街を作りましょう

広報しもだ 12

2024
No. 788

白濱神社例大祭



ひたちさい
火達祭



ほうのうさんばそう
奉納三番叟



最終回は、グローバルの源流とも言える幕末の子ども達の姿からグローバルCITYである下田の未来についてお伝えします。



下田開港170周年記念事業 開国のカケラを集めて ～ グローバルの源流 ～

ある外国人の日記から
垣間見るグローバル

1855年に米海軍の測量隊の一員として下田や函館など日本各地を調査したアレクサンダー・ハバーシヤムは、「マイ・ラスト・クルーズ」一八五五年アメリカ海軍北太平洋測量艦隊日本航海・琉球・下田・箱館・蝦夷地滞在記」という滞在記を残し、開港直後の下田の様子や情景、人々とのふれあいを一兵卒ならではのリアリティ溢れる筆致で描いています。

彼が下田に滞在した1855年はペリー来航の一年後、安政の地震から約半年後です。

そのときの下田は、復興後、もしくは復興最中でした。

新築の家々の構造、欠乏所やお風呂での外国人とのやりとりなど、感情のこもった細かい描写は公的な資料にはなかなか見られないものです。

その中でも、彼が下田港から柿崎へボートで到着したとき、子どもたちが彼らを出迎えた描写は、下田が開港場として獲得した、かけがえのないグローバルの萌芽を感じさせます。



米海軍の水兵との交流（黒船祭）



今も続くペリーとハリスの子孫との交流

同じ地点での特異点

一般的には「黒船来航」というイメージは、一般住民は恐ろしくて戸を閉ざし、震えていた、というような先入観があるかもしれません。

もちろんそういった態度は時代によっては史実だったかもしれませんが、この日記から見えるペリー来航から一年後の下田では、外国人にとっても友好的で、子ども達は外国語に興味を持ち、外国人との交流に積極的な世界だったということです。

この心温かな情景のほんの数年前、吉田松陰は同じ柿崎の地から米国船への乗船を試みますが、失敗に終わります。

それはただの失敗では無く、そのことが大きなきっかけとなって、彼は故郷萩で多くの門下生を持ち、その中から数々の偉人を輩出しました。同じ砂浜でありながら、ほんの少しのタイミングで気兼ねなく外国人に触れ合えた人とならぬ人ができてしまいうのも、幕末という大きな転換点ならではの出来事です。

次の世代、10年後、20年後、
200周年、そしてその先の未来へ

下田の個性の最たるものとして、幕末開港の歴史があります。歴史は常に過去から現在、未来へと流れていきます。

幕末の下田が開港場としての役割を果たしたきっかけは、江戸初期に江戸大坂間の中継港として活躍した歴史がありました。

そして、幕末開港期に始まった国際交流の歴史は、黒船祭や日露交流、姉妹都市交流など幅広い要素を包みこみ、現在につながってきています。

下田市は「グローバルイズム（国際性）」と「ローカリズム（地域性）」を組み合わせ「グローバルCITYプロジェクト」を推進しています。これはこれまでの下田の歴史と国際交流をまちづくりへ更に反映させていくことで、この先の未来につなげていく取組です。

今後10年、20年、さらに多くの年月が過ぎたとき、私たちの生きている現在も、幕末開港を一つの通過点とした歴史の一部となります。

開港170周年という節目に、下田の歴史を、そして未来を考えるきっかけにしたいだければ幸いです。



市内小学生と留学生との交流

「開国のカケラを集めて」のアーカイブはこちら



「柿崎との間の海岸に上陸し、浜辺沿いに柿崎のはずれまで歩いた。すると大変な数の子供たち、可愛い少女たちが我々を歓迎しにきたのは驚きの始まりだった。外国人を見ようと家から飛び出し、行く手にずらりと並んで、頭上には奇抜な絵が描かれた傘をさし、足下は履きにくそうな竹馬に似たサンダル〔下駄〕を履いている。ざっと見たところ、子供たちは好奇心いっぱいであるとともに、かなり小生意気そうに見えるが、概して態度には大胆さが目立つ」

「この特別な地方の人々は、これまでにアメリカ人を十分に見ており、明らかにペリー提督の二度の訪問の間に好意的な知識を得てきており、我々を見ても恐れる様子はない。」「両手を上げてHow do you do?とか、Ollo!と挨拶し、「我々の言語の二三の言葉を知ろうとする大変な熱心さを示すのである」

「特に私が覚えている少年は、ちよつとの間に十までの数字を数えるのを覚えた。次の日に砂浜で、尖った棒を手にしたかれを見つけると、少年はその棒でone, two, threeなどと丁寧に書いていた。こうして一か月でも叩き込めば、多くの坊主頭の少年たちも同様に、素早く、正確に覚えることだろう」

「まだ子供の体格と、明るく輝く眼を見ると、日本人の頭脳が高度の思考力をもっていることが分かり始めた」

【引用書籍】

著者 アレクサンダー・ハバーシヤム
編訳 山本 秀峰
タイトル 『マイ・ラスト・クルーズ』一八五五年アメリカ海軍北太平洋測量艦隊日本航海・琉球・下田・箱館・蝦夷地滞在記

出版社 露蘭堂、2023年11月
引用頁 37、38頁
※引用文傍点は下田市にて追記
※市立図書館で貸出可



姉妹都市ニューポート市訪問滞在記

下田中学校の生徒4名による、アメリカという異国の地にて体験した報告です。



ザイニューポート市長（訪問時）と市訪問団



あおきひなた
青木陽菜葵さん

今回の訪問は私にとって初めての海外でした。訪問に向けての準備もわからないことばかりで、ワクワク半分不安半分でした。けれど、事前の説明会でアメリカの文化やお金のことなどを丁寧に説明していただいたおかげで、迷いなく準備を進めることができました。滞在中に不便を感じたことは特になかったと思います。

アメリカのことを一言で表すなら「何もかもが高い」。建物も、コミュニケーション能力も、身長も、物価も。景色なども日本とは全然違うので、まるで別世界にきたような感覚でした。夜の街並みは、建物の明かりがとても眩しくて、昼間のようにキラキラしていました。

ニューヨークの街を見て回った2、3日目は、建物を見上げすぎて首が痛くなりました。アメリカは地震が少なからしく、古い建物がたくさん残っていました。外国の映画でしか見たことがないようなレンガでできた外壁を眺めたり、石畳の上を歩いたりする感覚は、直接アメリカに行かないと味わえない素敵な体験だったと思います。4日目の夜からニューポートでお世話になったホストファミリーのカイムズさん一家はとても優しい方たちでした。私たちが英語を聞き取れないときはゆっくり言い直してくれたり、翻訳機を使ったりして、積極的に私たちとコミュニケーションを取ろうとしてくれたことが印象に残っています。自撮りが大好きだと言っていて、家や外出先でたくさん写真を撮りました。

初めは言葉が通じないことがとても怖かったですが、単語だけでもいいから自分の思っていることを進んで伝えることが大切だと気づきました。今回の訪問を通じて、海外とのつながりがある職業にも興味を湧き、自分の将来を改めて考えるきっかけになったと思います。貴重な機会をありがとうございました。



つのみまみ
冨宮真実さん

「自らコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切にしたい。」私はそう言って訪問先へ出発しました。しかし、心のどこかに初めて訪れる国で、うまくコミュニケーションを取れるかという不安がありました。実際にドラッグストアで初めて買い物をした時には、店員さんの言葉が聞き取れなかったことなど、うまくいかないことが多くありました。しかし、次第に新たな気づきが生まりました。例えば話すときに発音を意識すると伝わりやすかったです。英語で話しているつもりでも、日本語の発音だと伝わらないことがありますが、単語ひとつでも発音を少し意識すると自分の思いを伝えることができました。そのようなときに強く感じたのが、伝えようとする気持ちの大切さでした。

この気づきを活かし、ニューポート市立大学で自己紹介と下田中学校についてのスピーチをしました。すると、その後の昼食のとき、大学生の方が、自己紹介で話したピアノについて話しかけてくださり、伝わっていることが実感できてとても嬉しくなりました。ニューポートでは2日間ホームステイをしました。知っているだけでも靴のまま家の中に入ることへ抵抗を感じたり、食前に「いただきます」と言わないことから、いつ食事を始めてよいか迷ったりし、日本との文化の違いを肌で感じました。しかし、ホストファミリーはその違いをそのまま受け入れてくれました。そのおかげで、自分自身も違うことが当たり前だと感じられるようになり、その違いも新たな発見として吸収できるようになりました。

インターネットで調べればどのようなこともわかってしまうように感じられる現在、このような人との関わりは、実際に体験しないとわからないことだと思っています。たくさんのお話を生で見えて、体験できた8日間はとても貴重な経験でした。今回学んだたくさんのお話を今後の学習や未来へと活かしていきたいです。



なかむらゆな
中村羽南さん

私は今回のアメリカ訪問で、初めて経験することがたくさんあり、とてもワクワクしました。日本から出て飛行機に乗ることなど、全てが初めてでした。英語を話すことができるかとても不安で緊張しましたが、行ってみるととても楽しかったです。

約12時間のフライトを終え、ニューヨークに着くと、日本とはまるで違う景色に驚かされました。高層ビルが並び、人が数えられないくらいたくさんいました。歩行者の信号が横向きだったり、車が右側通行で、左ハンドルだったり、小さな違いもたくさん見つけることができました。

私がニューポート市内で印象に残ったことは2つあります。一つ目はニューポート市立大学に行き、下田市との関わりがあることを知ったことです。下田の玉泉寺の資料など、ハリスさんと下田市の関係にまつわる資料がいくつかありました。2つ目は、自由の女神像を見たことです。実際に船に乗り、自由の女神のある島に行きました。その後、自由の女神ミュージアムに行き、体のパーツの大きさだけでなく人の2倍以上の高さがあり、びっくりしました。ニューヨークの観光が終わり、下田市と姉妹都市であるニューポート市に向かいました。ニューポートでは、ホストファミリーの家に2日間滞在をしました。はじめは日本語が使えない状態で不安でしたが、ホストファミリーはなるべく簡単な英語をゆっくりと話してくれたので、わかりやすかったです。難しい単語が聞き取れなくて困っていたときには、翻訳を利用して教えてくれたのでとても助かりました。

私の将来の夢はまだ確実には決まっていませんが、英語が好きなので、このアメリカに行った貴重な体験を活かして、英語を使った職業に就きたいと考えています。このような機会をあたえてくださった下田市に感謝します。ありがとうございました。



なかむらあきら
中村明朗さん

12時間という長い空の旅を終えて空港に着きました。日本を夜に出発しましたが、アメリカに着いた時、また同じ日の夜だったのが変な感じがしました。その日は、店に行って水を買ってホテルに戻って就寝しました。深夜3時に起きてそこから全く眠ることができませんでした。

次の日から3日間ニューポートに滞在しましたが、その中でワールドトレードタワー跡地は、とても印象に残っています。20年以上前に起きた9・11のテロがあった場所でも知っているような場所でした。その跡地には水が流れていました。これはビルが火事になった時、炎によって亡くなってしまった人たちの追悼の意味があることを知り、悲しい気持ちになりました。また、自由の女神を見に行き、メトロポリタン美術館を訪れました。美術館は驚くほど大きく、1日では見学できないような大きかったです。

4日目の午後にニューポートに行きました。雰囲気は下田に似ていましたが、街並みはアメリカで不思議な感じがありました。その日から、ホームステイで日々を過ごし、夕食には日本では売っていないような大きさのピザを食べました。次の日は、トンブソンミドルスクールを見学に行き、アメリカの学校を訪れることは初めてだったので、とてもわくわくしました。市長さんにもお会いしましたが、若くて穏やかな雰囲気の方で話しやすかったです。翌日にペリー提督の墓地にお参りに行きましたが、日本のお墓と異なり、柵に覆われてとても大きく、驚きました。

何もかもが新鮮で、とても貴重な体験でした。このような機会をいただいたのも、下田市の皆様のお陰と感謝しております。この経験を今後の進路に生かして頑張っていきたいと思っています。



なかむらあきら
中村 敦 団長

西暦1854年の下田を、誰も見たことのない軍服のアメリカ人が闊歩したとき、市井の人々の驚きと好奇は計り知れないものがあったでしょう。情報化社会においてはそれほどではないにしても、下田中学校の生徒4名にとっての初のアメリカ本土上陸は、異国・異文化に五感で浸かる事となりました。日本開国の歴史を縁とするニューポート市とニューポート市との交流訪問は、多民族国家を、アメリカ文化を、自由を勝ち取る闘いの歴史を、それからの国の成り立ちを、教育現場の違いを、ニューポート市という友人の温かさを肌で感じる有意義な旅でした。同時に生徒らは、日本という国の美しさと文化的豊かさを、日本人の笑顔とサービスの良さを、下田市の歴史的価値等々、これまで意識しなかった「日常」を再認識した事でしょう。それをサポートしてくれた現地ガイドが秀逸でした。マンハッタンと建国の歴史、美術館からブルックリンとウォール街散策まで、興味深く、わかりやすく、深く解説してくれた事に感謝いたします。

多民族国家であるアメリカでは私たち「アジア系」は特別視されず、また英語がしゃべれて当然という接し方です。生徒らは今、自我に目覚め始めた多感な思春期。アジア系で日本人というマイノリティに置かれた時に、初めて人種や国家を自覚させられたに違いありません。それは自分自身を理解し、自分は何者であるか、将来どうありたいかを考えるきっかけとなったはずですが、かといって必ずしも特別な何かなれと望むものでもありません。この経験を自分の何とするかは自分次第。でも出会った人との絆は生涯大事にして欲しいと、それが団長としての願いです。

私は此度の4名と下田を代表して訪問できたことを宝物とし、成長を見守ります。最後に、皆が協調性と自主性を持って行動してくれた事に感謝します。また訪問の企画・調整サポートをしてくれた全ての内外関係者に心より感謝申し上げます。

～下田市の財政事情を公表します～

市民の皆さまに市の財政状況をお知らせするため、毎年6月と12月に財政事情を公表しています。これは、皆さまの税金や国、県からの交付金がどのように使われているかを示す、下田市の家計簿とよべるものです。

令和5年度決算 一般会計
 令和5年度は、歳入が約136億5,893万円、歳出が約128億9,400万円の決算となりました。繰越財源を除いた実質収支は約7億2,582万円となり、前年度の実質収支や財政調整基金の積立て・取崩しを加味した実質単年度収支では約1億4,478万円の赤字となりました。

都市計画税充当事業区分	事業費	都市計画税充当額	対一般財源の充当割合	
都市計画事業	都市計画事業	1,631万円	330万円	100%
	街路事業	1,469万円	1,469万円	100%
	公園事業	459万円	459万円	100%
	下水道事業(繰出金)	1億6,002万円	3,831万円	23.9%
その他	土地区画整理事業 都市計画事業地方債償還額	4億3,895万円	9,972万円	25%
都市計画税充当事業計		6億3,456万円	1億6,061万円	27.6%

○都市計画税
 都市計画税は、都市計画事業・土地区画整理事業に要する費用に充てるための税です。

入湯税充当事業区分	事業費	入湯税充当額	対一般財源の充当割合
環境衛生施設	450万円	0万円	0%
観光振興	1億6,043万円	8,022万円	76.2%
消防施設等	1,540万円	0万円	0%
地方債償還金	3,316万円	0万円	0%
入湯税充当事業計	2億1,349万円	8,022万円	51.7%

○地方消費税交付金
 平成26年4月1日と平成30年10月1日の計5%の消費税引き上げに伴う、地方消費税交付金の増額分については、社会保障施策(社会福祉・社会保障・保健衛生)に要する経費の財源に充てることとなっております。

地方消費税交付金(社会保障財源分)充当事業区分	事業費	地方消費税交付金(社会保障財源分)充当額	対一般財源の充当割合
社会福祉	15億2,118万円	8,611万円	20%
社会保障	10億2,442万円	1億6,703万円	20%
保健衛生	1億0,249万円	1,400万円	20%
子ども子育て支援	2億8,470万円	1,645万円	20%
地方消費税交付金充当事業計	29億3,279万円	2億8,359万円	20%

市債の状況
 一般会計における市債借入額は、15億1,520万円です。借入目的は、新庁舎建設事業、市民文化会館改修事業などで、前年度に比べて7億8,670万円、108.0%の増となっております。

○市債残高の内訳

会計名	市債残高
一般会計	116億9,684万円
下水道事業会計	40億9,989万円
水道事業会計	32億1,387万円
集落排水事業特別会計	6,466万円
市債残高計	190億7,526万円

○特別会計

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	342万円	443万円	148万円
下田駅前広場整備事業特別会計	951万円	949万円	812万円
公共用地取得特別会計	305万円	304万円	304万円
国民健康保険事業特別会計	30億7,181万円	28億0,996万円	27億5,879万円
介護保険特別会計	28億8,456万円	28億2,827万円	26億6,987万円
後期高齢者医療特別会計	4億2,859万円	4億1,879万円	4億1,366万円
集落排水事業特別会計	2,502万円	2,479万円	1,714万円

○水道事業会計

資本的収支(税込)				収益的収支(税込)			
項目	収入済額	項目	支出済額	項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	2億5,852万円	支出合計	5億3,564万円	収入合計	6億5,456万円	支出合計	5億6,678万円
企業債	2億4,920万円	建設改良費	3億9,285万円	営業収益	6億2,460万円	営業費用	5億2,574万円
出資金	0万円	企業債償還金	1億4,279万円	営業外収益	2,996万円	営業外費用	4,104万円
負担金・その他	932万円	その他	0万円	特別利益	0円	特別損失	0円

収支不足額2億7,712万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,362万円、当年度分損益勘定留保資金2億3,423万円、減債積立金取崩額927万円等で補てんしました。

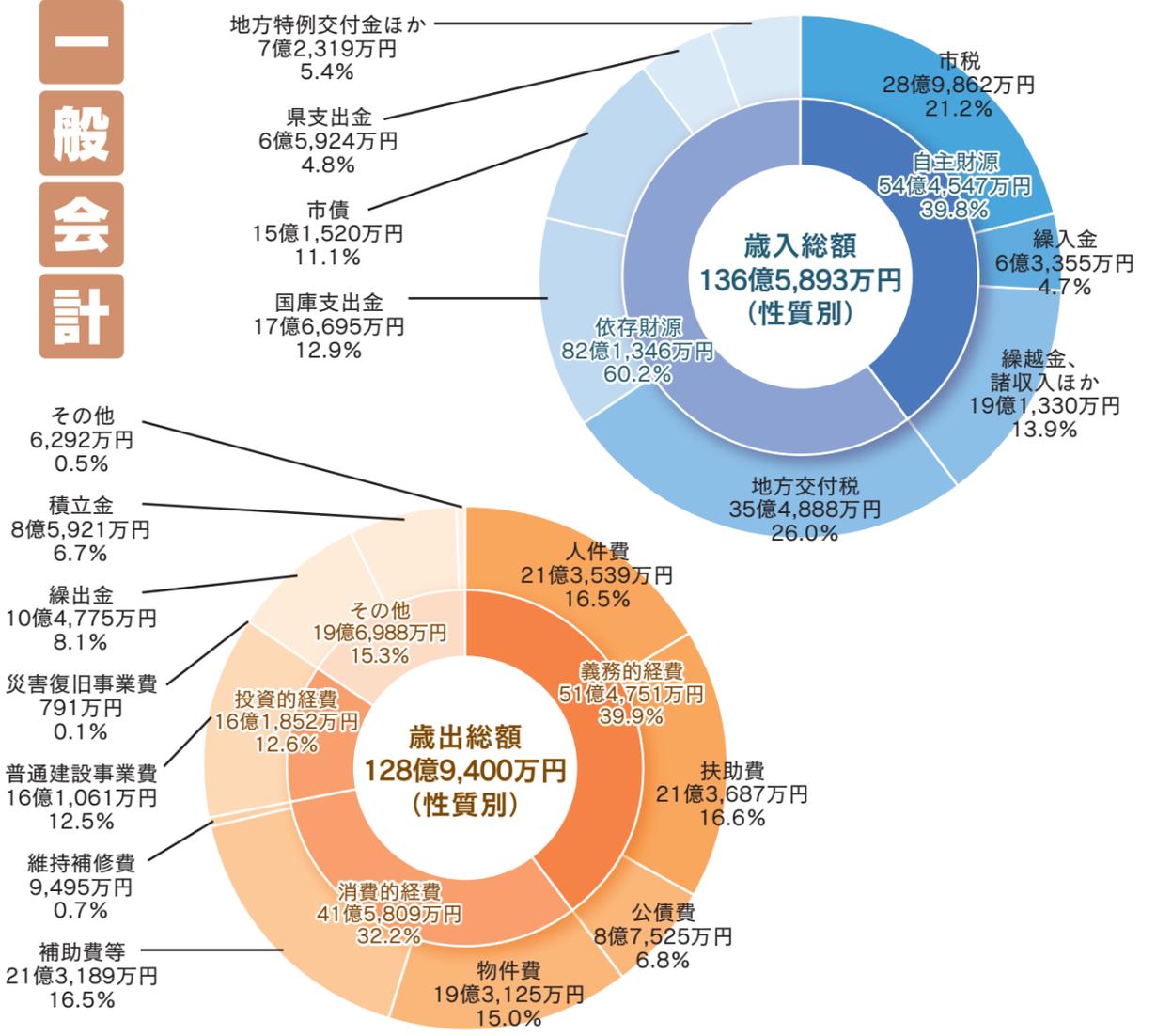
令和5年度の水道事業会計は、収支の差引きで8,778万円の赤字となり、当期純利益(税抜)は、5,323万円となりました。

○下水道事業会計

資本的収支(税込)				収益的収支(税込)			
項目	収入済額	項目	支出済額	項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	1億9,718万円	支出合計	6億1,119万円	収入合計	9億0,517万円	支出合計	7億2,813万円
企業債	1億0,860万円	建設改良費	2億2,330万円	営業収益	1億4,326万円	営業費用	6億8,662万円
出資金	3,056万円	企業債償還金	3億8,789万円	営業外収益	7億6,191万円	営業外費用	4,151万円
負担金・その他	5,802万円	その他	0円	特別利益	0万円	特別損失	0万円

収支不足額4億1,401万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,321万円、当年度分損益勘定留保資金2億3,808万円、減債積立金取崩額1億0,150万円、当年度利益剰余金処分額6,122万円等で補てんしました。

令和5年度の下水道事業会計は、収支の差引きで1億7,704万円の赤字となり、当期純利益(税抜)は、1億6,383万円となりました。



入湯税、都市計画税、地方消費税交付金の使途

市税のうち、目的税である入湯税、都市計画税及び平成26年4月1日からの消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使途について、お知らせします。

○入湯税
 入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設や消防活動並びに観光の振興(観光施設の整備を含む)に要する費用に充てるための税です。

○入湯税、都市計画税、地方消費税交付金の使途
 市税のうち、目的税である入湯税、都市計画税及び平成26年4月1日からの消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使途について、お知らせします。

●令和5年度市税収入の内訳

固定資産税	13億6,497万円
市民税	10億1,358万円
市たばこ税	1億9,740万円
都市計画税	1億6,061万円
入湯税	8,022万円
軽自動車税	8,184万円
合計	28億9,862万円

防災かわら版

問合せ先 防災安全課防災係（河内庁舎2階） ☎ 4145

下田に「有浦さん」が やってくる!?

第2回防災講演会 軍師に学ぶ 防災の心得



熊本県初代危機管理防災企画監
(熊本県防災軍師)
ありうら たかし
有浦 隆 氏

自衛官として日本各地で発生した大災害に派遣され、幅広い知識と指揮経験のある有浦氏は、熊本地震において危機管理防災企画監として災害対応の陣頭指揮を執りました。「楽しく、しかし真剣に」をモットーに漫談を入れた防災の心得をお話しいたします。

申込はこちら



12月21日(土) 13時30分～

道の駅開国下田みなと 会議室3

主催：防災安全課防災係

イノシシやシカなどの鳥獣被害を減らそう!

令和6年度 狩猟免許試験

開催日 令和7年2月9日(日) 9時
場所 【第一種・第二種銃猟】
県富士総合庁舎(富士市本市場4-1-1)
【わな猟】
コンベンション沼津(沼津市大手町1-1-4)

免許種類 わな猟、第一種銃猟、第二種銃猟
申込期間 12月2日(月)～12月27日(金)
申込方法

申請書を記入の上、必要書類を添えて賀茂農林事務所へ申込みください。
※申請書は賀茂農林事務所窓口、又は県ホームページから取得できます。

申請手数料
5,200円(他の狩猟免許を持つ場合3,900円)

問合せ先
産業振興課農林係(河内庁舎2階) ☎ 3914
賀茂農林事務所森林整備課 ☎ 2082

狩猟免許試験のための実技講習会

※受講は義務ではありません。

開催日 令和7年1月18日(土)
場所 静岡労政会館
(静岡市葵区黒金町5-1)

講習内容(実技のみ)
・鳥獣の知識と判別、わなの知識と判別
・模擬銃による点検・分解・操作

申込期間 12月2日(月)～12月26日(木)

申込方法
県猟友会事務局へ電話で申込みください。

定員(先着順) 第一種銃猟70名 わな猟120名

受講料
10,000円
(テキスト、弁当代等含む。猟友会員は8,000円)

問合せ先
(一社) 静岡県猟友会事務局
☎ 054-253-6427

※新たに狩猟免許を取得した方への補助制度があります。詳細は産業振興課農林係(河内庁舎2階) ☎ 3914までお問い合わせください

令和6年度上期執行状況

令和6年9月末現在の各会計の収入、執行状況は次のとおりです。負担金や使用料・手数料など、歳入の確保に努めるとともに、歳出では効率的な執行を図りながら、これまでと同様、財政の健全化に努めていきます。

市では、今後も市の財政状況がどのような状況であるのか市民の皆さまにお知らせし、市政への理解を深めていただくために、定期的に「財政状況の公表」を行ってまいります。

歳出

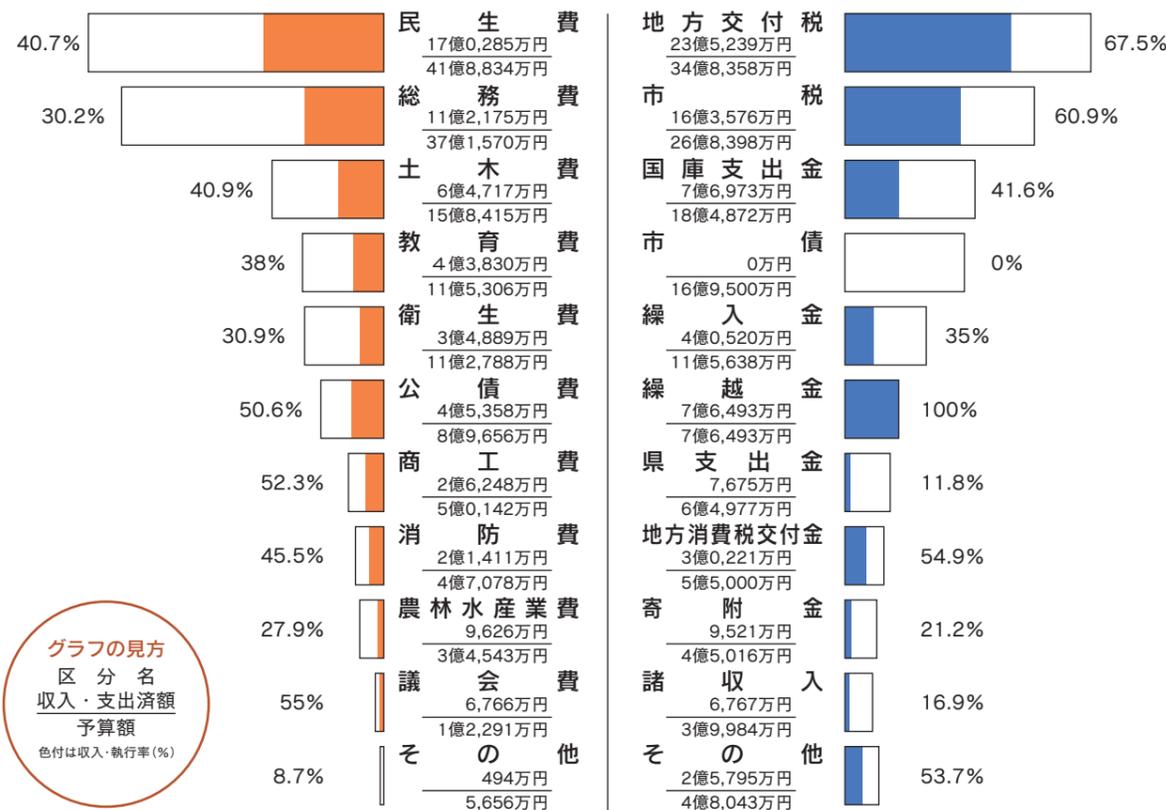
執行率 37.8%
53億5,799万円
141億6,279万円

令和6年度一般会計の執行状況 予算額141億6,279万円

※繰越明許分を含む

歳入

収入率 47.5%
67億2,780万円
141億6,279万円



令和6年度特別会計及び企業会計の執行状況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	384万円	444万円	1万円
下田駅前広場整備事業特別会計	766万円	392万円	253万円
公共用地取得特別会計	306万円	6万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	29億6,367万円	11億6,658万円	11億1,887万円
介護保険特別会計	28億7,885万円	14億1,876万円	10億4,040万円
後期高齢者医療特別会計	4億7,087万円	1億4,525万円	8,188万円
水道事業会計	12億4,038万円	3億6,631万円	2億2,532万円
公共下水道事業会計	15億0,656万円	6億4,069万円	2億9,415万円
漁業集落排水事業会計	3,970万円	1,443万円	548万円
計	91億1,459万円	37億6,044万円	27億6,864万円

～下田のデキゴト～



10/26 Sea&Rainbow We are shimoda kids

まどが浜海遊公園に子どもたちの文化・芸術・スポーツ団体が集まり、発表・体験イベントが開催されました。会場では飲食コーナー等も用意され、芝生広場にテークろぎながら、多くの市民でにぎわいました。



11/15 伊豆縦貫道50文字作文 表彰式

伊豆縦貫道への期待や一部区間開通による変化、思いを50文字の作文として募集し、入賞作品の表彰式を開催しました。130作品を超える応募があり、伊豆縦貫道の注目度や期待が大きく表れた結果となりました。



11/21 交通安全功労者等表彰

静岡県交通安全協会下田地区支部下田分会は、静岡県交通安全対策協議会会長表彰を受賞し、市長へ報告を行いました。当会は永年にわたり交通安全の広報・啓発活動を実施しており、交通事故防止に大きく貢献されています。



11/ 5 サーフィン日本代表選手による講演会

パリ五輪サーフィン日本代表のコーナー・オレアリー選手と日本代表コーチ大野修聖氏(おののしゅせい)が下田中学校と下田市役所河内庁舎にて講演会を行いました。オリンピックの話や夢の実現についてご講演いただきました。



11/ 9・15 市内消防団消火演習

秋の全国火災予防運動に合わせ、市内各消防団で消火演習が行われました。空気の乾燥や暖房器具の使用より火災が発生しやすい時季になりますので、火の元には十分ご注意ください。



11/22 下田市選手団結団式

11月30日開催の第25回静岡県市町対抗駅伝競走大会に向け、下田市選手団の結団式を行いました。選手・監督・スタッフが一丸となり、チームの思いをのせたタスキを繋いでゴールを目指します。

11月の
できごと

- 2日 下田をきれいにする日
- 2日 耐震改修促進シンポジウム
- 9-10日 Sea 級グルメ全国大会 in 境港

- 16-17日 全国路地サミット in 伊豆下田
- 19日 VR認知症体験講座
- 23日 ポッチャ大会

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎2200



11月の予定

- 4日(土) 開放開始・開館日
 - 8日(水) めだかルーム 9時~11時30分
 - 9日(木) こま作り
 - 10日(金) こま作り
 - 14日(火) 交通安全教室
 - 15日(水) あひるルーム 9時~11時30分
 - 17日(金) わくわくタイム
 - 18日(土) 開館日
 - 20日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分~11時
場所: 市民スポーツセンター
 - 22日(水) うさぎルーム 9時~11時30分
 - 27日(月) 発育測定・育児相談 9時~11時
保健師・栄養士来所
 - 29日(水) 誕生会 10時30分~
 - 30日(木) 鬼のでんでん太鼓製作
 - 31日(金) 鬼のでんでん太鼓製作
- ※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



ハロウィン製作



うさぎルーム

赤や黄色で彩られていた木々の葉もいつの間にか散り、今年もあとひと月となりました。クリスマスにお正月休みと、楽しみがいっぱいの12月です。今年の冬は十分な睡眠と栄養を心がけ、家族みんなが元気に楽しく過ごせるといいですね。
また、寒いとつい厚着をさせてしまいがちですが、暖房で暖まっている室内では上着での温度調節を心がけましょう。自分で体温調節ができない乳児には、大人の気遣いが大切です。



ベビーリトミック



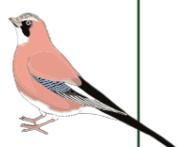
誕生会

こんにちは、教育長です
「わなな」

井上靖の自伝的長編小説「しろばんば」に、洪作少年たちが作った毘にヒヨドリ(野鳥)がかかり、亡骸の始末をめくり少女あき子たちを悲しませるというシーンがあります。「バタン、キュー」と表現しているように、まさにギリギリのような毘で、その構造までは描かれていません。小説の舞台、伊豆市湯ヶ島の呼び名は分かりませんが、下田のお年寄りはその毘を「ばんば」と呼んでいたようです。実はこの「ばんば」の作り方を知っているお年寄りが近所にいて、教えていただいたことがありました。私が教師になって間もない頃でした。中学校国語の教科書に掲載されていたので、その当時この毘が一体どんなものなのか気になっていました。たまたまそのお年寄りに出会ったのです。山に入り二時間ほどかけて作って見せてくださいました。構造があまりにも複雑で、描いても話しても説明が困難なほどです。放課後、私は生徒たちを中学校の裏山に連れて行き、その毘を再現しました。部活動後毎日観察していましたが、風雨に晒され一週

間ほどで潰れました。どうやら小鳥が一羽かかったようでしたが、姿はありませんでした。生徒が毘に挟まっていた青と白の縞模様風切羽を図鑑で調べると、「カケス」だと分かりました。私は、物語の一場面を再現したい、体験させたい一心で作ったのですが、今では動物虐待にあたるのでしょうか。この文章を書くのにも少し躊躇してしまいましたが、毘を作ったり、仕掛けを作ったりする中で生き物の生態、自然の営みや不思議を知り体感することは今の時代だからこそ子どもたちに味わせたいと思います。

「文部科学省が二万人以上を追跡調査したデータを分析したところ、小学生の頃に自然体験や読書、お手伝いなどを多くした子どもは、高校生の時に自尊心や外向性などが高いことが分かった」とは、ある新聞のコラムです。稲穂小の子どもたちは夏休み明け、地元の川でウナギのもじり体験をしました。「体験格差」という言葉が聞かれる昨今ですが、下田の子どもたちが、地域の皆さんによって多くの体験をさせていただいていることに感謝しています。



下田 インフォメーション

マイナンバーカードの
窓口延長

12月第4金曜日夜間と土曜日午前
にマイナンバーカード窓口を開設します。
窓口延長日及び時間
12月27日(金)
17時15分～19時30分
12月28日(土) 9時～12時
持ち物

・郵送された個人番号カード
交付通知書(交付の方のみ)
・マイナンバー通知カード
・本人確認書類(免許証等、顔写真付きのものは1点、保険証等は2点)
窓口の場所
市役所(東本郷庁舎1階)
市民保健課市民係(窓口②)
予約専用ダイヤル ☎21551
問合せ先
市民保健課市民係
(東本郷庁舎窓口②) ☎2215

12月の納税

納期:12月25日(水)
固定資産税 3期
国民健康保険税 8期
介護保険料 6期
納期:1月6日(月)
後期高齢者医療保険料 5期

スマートフォン講座を開催します

スマートフォンをお持ちのシニア世代を対象にスマートフォン講座を開催します。

1月開催
開催日 1月20日(月)
場所 市役所河内庁舎1階多目的室
午前の部
受付開始時間 9時30分から
時間 10時～12時
午後の部
受付開始時間 13時から
時間 13時30分～15時30分
対象者
市内在住の65歳以上の方
募集人数 各10名(先着順)
受講料 無料
内容
スマートフォンの基本操作、文字入力、便利なアプリの紹介、地図アプリの使い方、メールの使い方、LINEの使い方等
申込方法
問合せ先にご連絡ください。

ぜひご利用ください
下田市メール配信サービス



住民票、戸籍などの交付手数料
コンビニ交付で100円お得!



令和7・8年度
下田市入札参加資格
審査申請の受付

①建設工事、②建設業関連業務、③物品の製造等(役務の提供含む)、④特例建設工事に係る入札参加申請の定期受付を行います。
入札に参加を希望される場合は申請をお願いします。また、電子入札利用者登録番号の配布を希望される方は、申請日の2日以上前までに連絡をしてください。
受付期間
1月5日(日)～31日(金)
(土日祝日を除く)
受付時間 9時～11時30分、13時～16時30分
受付場所
財務課検査係(河内庁舎3階)
※できるだけ郵送での申請をお願いします(郵送は書留郵便)。持参又は郵送どちらも返信用封筒(長3…切手貼付)が必要です。
有効期間
令和7年4月1日～令和9年3月31日
提出・問合せ先
財務課検査係
(河内庁舎3階) ☎23912

下田市環境審議会委員募集

任期 令和7年2月1日～令和9年1月31日(2年間)
応募資格
市内に在住する満20歳以上の方で、平日昼間予定の会議に参加できる方
募集人員 3人以内
応募方法
市ホームページ又は環境対策課にある応募票を記入し、提出してください(応募票は返却しません)。
応募期日 12月25日(水) 必着
活動内容
市長の諮問に応じて、①環境基本計画、②公害防止、③ごみの減量化、④その他環境の保全等に関することについて、調査審議します。
その他
応募票を選考材料としますが、状況や応募票の内容等により、面接等を実施する場合があります。結果は応募者全員に通知します。また、委員には市の規定による報酬をお支払いします。
提出・問合せ先
環境対策課環境保全係
(清掃センター) ☎22213

申込締切

1月開催分:1月15日(水)
※定員に達し次第終了
持ち物
筆記用具・ご自身のスマートフォン
申込み・問合せ先
総務課情報推進係
(東本郷庁舎別館) ☎23921
国勢調査員を募集します
令和7年10月1日を基準日に全国一斉に国勢調査が実施される予定です。この調査は日本国内に住むすべての人と世帯を対象としたもので、5年に一度行われる国の最も基本的な統計調査です。
市では約1500人の調査員が必要となるため、令和7年国勢調査員として従事していただける方を募集しています。調査の開始前には説明会を開催しますので、未経験の方でも安心してご応募ください。
国勢調査員登録の要件
①原則20歳以上の方
②責任を持って調査事務を遂行できる方
③守秘義務を守ることができ
④警察、税務、選挙に直接関係していない方

認知症カフェ
脳トレ体験及び個別相談会

日時
①1月17日(金) 10時～11時30分
②1月31日(金) 13時30分～15時
場所 市役所河内庁舎1階多目的室
対象 市民の方 20人程度
内容 数字版、パズル、かな拾いゲーム、ハンドマッサージ、個別相談(認知症疾患医療センター職員対応)
参加費 無料
申込・問合せ先
地域包括支援センター
(東本郷庁舎窓口④) ☎364146

法律問題の解決に困ったら、
独りで悩まずに弁護士へご相談ください。

下田ひまわり基金法律事務所
弁護士 三森 祐二郎
下田市東本郷2丁目9番15号
伊豆新聞社ビル3階
TEL:0558-25-2131
まずは、お電話でご相談の予約をお願いします。

(広告)

2025年
農林業センサスを実施します

国の農林業・農村地域の実態を明らかにし、農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施しています。
1月中旬より調査員が農林業関係者を訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。皆さまのご協力をお願いします。
問合せ先 総務課情報推進係
(東本郷庁舎別館) ☎23921
福祉講演会のお知らせ

⑤暴力団員、暴力団関係者ではない方
任期
8月下旬～10月下旬頃(2か月間)
主な業務内容
①調査員説明会へ出席
②調査担当区域の確認
③調査票の配布と記入依頼
④調査票の回収・点検・整理
⑤調査票などの書類提出
調査員の身分
任命期間中は、総務大臣に任命される非常勤の国家公務員となります。
報酬
国の基準に基づき報酬が支払われます。
前回1調査区約35000円程度です(件数によって増減あり)。
申込方法
二次元コード又は問合せ先までご連絡ください。希望地域等の確認をさせていただきます。
申込・問合せ先
総務課情報推進係
(東本郷庁舎別館) ☎23921
問合せ先
福祉事務所障害福祉係
(東本郷庁舎窓口⑥) ☎2216



応募申込み
二次元コード

歩きははじめは下田から
伊豆早稲つらわーウォーキング
第27回下田水仙ツデーマーチ

2025年1月11日(土)～1月12日(日)
下田水仙ツデーマーチ実行委員会

豊かな自然を満喫できる「下田水仙コース」と吉田松陰の歴史が刻まれた様々な地を巡る「松陰コース」をご用意。詳細は二次元コードからご確認ください。皆さまのご参加をお待ちしています。
申込方法
①郵便振替
問合せ先へお電話ください。申込用紙を送付します。
②インターネット申込み
二次元コードから申込みください。
問合せ先 観光交流課
(河内庁舎2階) ☎23913

年末年始の歯科救急のお知らせ

年末年始に急に歯が痛くなったなどでお困りの方のために、当番制で歯科診療を行います。

実施日	当番医	電話番号	住所
12/30(月)	勝田歯科医院	☎0545	一丁目20-24
12/31(火)	菊池歯科医院	☎0701	二丁目12-26
1/1(水)	-	-	-
1/2(木)	-	-	-
1/3(金)	土屋歯科医院	☎1025	東本郷1-5-24

★診療受付時間:午前9時～午後2時30分
★必ず、電話にて予約をお願いします。
★持ち物:「健康保険証又はマイナ保険証(資格確認書)」
「子ども医療費受給者証」
問合せ先
市民保健課健康づくり係(東本郷庁舎窓口⑤) ☎22217
※年末年始は日直の対応となります。

わが家のアイドル

須崎にお住いの
田中 竜司さん・芽以さんの

長男 柁麻くん (4歳10か月)

長女 那帆ちゃん (2歳8か月)



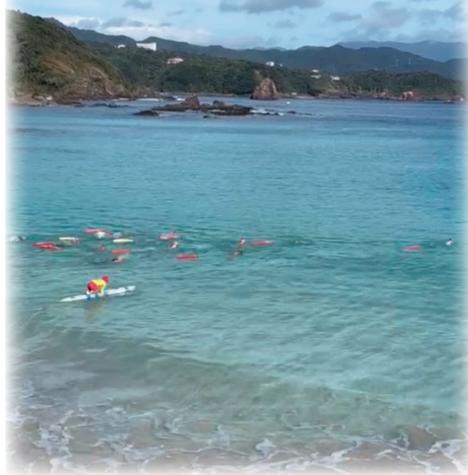
優しいお兄ちゃんとパワフルな妹
カッパ着てとっと(父)が釣ってくる
マグロを降ろすお手伝いをするよ!
須崎のちびっこ漁師をよろしくね♪

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。

市役所へどしどしお寄せください!

問合せ先 企画課秘書広報係(河内庁舎2階) ☎2212

地域おこし協力隊の 活動報告

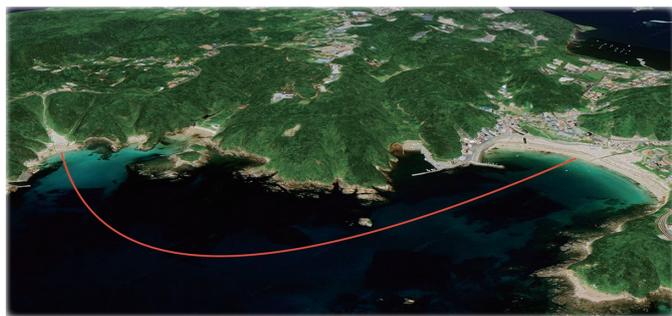


こんにちは。地域おこし協力隊アウトドアスポーツ担当の山口です。

10月に須崎の九十浜にて、「下田オーシャンスイムチームチャレンジ」と題したオープンウォータースイミングのテストイベントを実施しました。ご参加いただいた皆さま、そして開催に向けてご協力いただいたすべての方々に、心より御礼申し上げます。

オープンウォータースイミングとは、プールではなく自然の海や湖を泳ぐスポーツで、近年人気が高まっています。オリンピックの種目にも採用されています。

今回のテストイベントでは、九十浜から外浦までの3キロメートルを往復するコースを設定しました。国内では珍しい往復コースと、抜群の水質を誇る下田の海が、参加者から高く評価されました。



テストイベントのコース(九十浜～外浦)

下田の海の魅力を体験していただき、フィードバックを得ることを目的に、経験者をメインとした本大会に向けたテストイベントとして位置付けて実施しました。

また、ビーチクリーン活動にもご参加いただきました。首都圏からの参加者が多い中、白浜から爪木崎にかけての海岸で漂着ゴミの多い現状を知っていただく機会にもなり、環境保全の大切さを実感する場となりました。

イベントを通じて改めて感じたのは、やはり下田の海の魅力です。透明度が高く美しい海を守りながら、地域の自然環境を活かして地域活性化を図ることの大きな意義を再確認しました。

来年度開催予定の本大会に向け更に整備し、この活動が新しい地域スポーツの形として定着するよう努めてまいります。今回のイベントが次回への礎となり、地域の皆さまと共に「海のある暮らし」を支える存在になれるよう引き続き取り組んでまいります。

問合せ先

生涯学習課社会教育係

(中央公民館) ☎25055

『下田市LINE公式アカウント』始めました!!

LINEから、暮らしに関する様々な情報を受け取ることができます。お住まいの地域を設定することで、ごみ収集日前日にお知らせ通知が届きます。

友だち追加は、こちらから→

